

## 嚥下外来の流れ

### 患者・家族

- 1 お電話にて、  
外来予約を  
お取りください

外来予約

04-7186-7560

- 2 受診時に紹介状  
(診療情報提供書)  
をご持参ください。



### 医療機関

- 1 代表番号に  
おかけのうえ、  
医療相談室へ  
ご一報ください。

代表番号

04-7186-7560

- 2 診療情報提供書を  
FAXください。

FAX番号

04-7186-7038

- 3 ご予約を  
お取りします。

嚥下外来(毎週金曜日)受診

嚥下内視鏡検査(VE)・嚥下造影検査(VF)

検査内容の説明

かかりつけの先生宛には返書(報告書)を郵送にて発行いたします。



その人らしさを取り戻す  
充実したリハビリテーションを  
提供いたします



院長 加藤 泉

#### 略歴

2005年 金沢医科大学卒業  
2008年 昭和大学病院臨床研修 終了  
同年 昭和大学リハビリテーション科 入局  
2014年 流山中央病院 リハビリテーション科  
2019年 流山中央病院附属  
泉リハビリテーション病院 院長

#### 専門分野

リハビリテーション一般(資格・専門医)  
リハビリテーション医学専門医・指導医  
義肢装具適合判定医  
身体障害者福祉法第15条指定医  
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士



医療法人社団曙会 流山中央病院附属  
泉リハビリテーション病院  
IZUMI REHABILITATION HOSPITAL

TEL.04-7186-7560

FAX.04-7186-7580

〒270-0119

流山市おたかの森北3-23-12

<https://www.izumireha.jp>

## 嚥下外来のご案内

VE/VF



医療法人社団曙会 流山中央病院附属  
泉リハビリテーション病院  
IZUMI REHABILITATION HOSPITAL

## 嚥下障害とは

嚥下とは、飲食物を飲み込むことを言います。この嚥下が悪くなった状態を嚥下障害と言います。

脳梗塞、脳出血などの脳の病気をはじめ、加齢に伴い、飲食物を飲み込む能力は低下します。

通常、食べ物は口から喉を通過して食道、そして胃へと運ばれます。しかし病気や年齢を重ねることで飲み込む力の低下やタイミングのズレなどにより、口から喉を通過して気管や肺に誤って入ってしまうことを誤嚥といいます。

これら誤嚥したものが肺に入って肺炎を生じたものを誤嚥性肺炎といいます。

嚥下の機能が低下すると誤嚥しやすくなり、ムセや窒息を生じやすくなります。特に高齢の方は誤嚥性肺炎で亡くなる方が少なくありません。

また、十分量、食事が摂れないと、体力が低下し、動きが悪くなります。

早めの判断、治療が健康寿命を延ばします。



## 検査について

嚥下は通常の診察では食べ物の通過状態や、口や喉の動きを詳しく診察・評価することが出来ません。

そのため特別な機器を用いて嚥下について検査します。



### 嚥下内視鏡検査 (VE)

細い内視鏡を鼻からのどへ挿入し飲食物を飲み込んでいただき、のどの状態、飲食物が通過していく動き等、飲み込み運動を評価・診断する検査です。

リハビリ科専門医が担当します。



### 嚥下造影検査 (VF)

レントゲンをあてながらバリウムを含んだ食物を飲み込んでいただき、動画で記録し嚥下運動や適切な食事形態を評価・診断する検査です。

リハビリ科専門医が担当いたします。

